

埼玉古墳群の出現

5世紀後半、それまで古墳が造られなかった行田市内に、突如墳丘長120メートルの巨大な前方後円墳「稲荷山古墳」が築造され、埼玉古墳群の造営が始まりました。そして、それを引き金に、佐間古墳群（佐間）、樋上古墳群（樋上）、酒巻古墳群（酒巻）、犬塚古墳群（犬塚）、若小玉古墳群（藤原町）、斎条古墳群（斎条）、大稻荷古墳群（須加）、下忍古墳群（下忍）、若王子古墳群（埼玉）、小針古墳群（若小玉）、小見古墳群（小見）など判明しているだけでも大小約150基の古墳が、7世紀中ごろまでの間に築かれています。



埼玉古墳群

古墳は古代の権力者の墓で、平面形態

が円形の円墳、鍵穴形の前方後円墳、方形の方墳などいくつかの形があります。大きさも墳丘長が数メートルのものから100メートルを超える巨大なものまであり、古墳の大きさが、築いた権力者の力を表していると考えられています。

埼玉古墳群で最初に築かれた稲荷山古墳は、旧武蔵国では二番目の規模を誇る前方後円墳です。稲荷山古墳に続いて築造されたと考えられる丸墓山古墳は、墳丘長の直径が105メートルの日本の一の円墳です。丸墓山古墳に続いて築造されたと考えられる二子山古墳は、墳丘長138メートルの旧武蔵国で一番大きな前方後円墳です。東日本一の規模を誇る埼玉古墳群には、これらの古墳が築造されて以降、墳丘長50メートル以上の大型前方後円墳6基、大型の円墳が3基、大型の方墳1基などが狭い範囲に集中して、7世紀前半まで長期間にわたって築かれています。

なぜ、それまで古墳が築かれなかった行田市の埼玉地区に、突如巨大な古墳群の築造が始まったのでしょうか。この古墳群を築いた権力者はどのような人物だったのでしょうか。その手掛かりを示してくれたのが、稲荷山古墳から出土した「金錯銘鉄剣」だったのです。

（文化財保護課 中島 洋一）

こぜにが with フラベス ちゃん行く!

ぎょうだ えきはっしや JR 行田駅発車ベル

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。



10月1日から、JR行田駅の発車ベルにスターダスト☆レビューの代表曲「夢伝説」が流れるようになったんだ。行田市出身の根本要さんがボーカル・ギターを務める「スターダスト☆レビュー」の皆さんには、平成23年6月から「行田市観光大使」として、全国に行田の魅力を発信してもらっているけど、今回、代表曲の「夢伝説」を発車ベルとして使用し、行田のさらなるPRを図ることにしたんだ。皆さん、とってもいい曲だから耳を澄まして聞いてくださいね。でも、聞くことに集中し過ぎて電車に乗り遅れちゃだめだよ。

今月の表紙 10月6日、「埼玉サイクリングフェスティバル2013」が開催されました。このイベントは、自転車の利用促進と県内の魅力を再認識することを目的に行われたもの。4回目の開催となった今回は、熊谷市・行田市・加須市・羽生市の観光名所を巡るコースで、参加者は地元グルメを味わいながらサイクリングを楽しみました。

市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線 318）まで。
市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線 318）までご連絡ください。

